

# 佐藤 けいすけ



令和6年第1回定例会が3月25日に閉会しました。能登半島地震を踏まえた取組みや脱炭素、労働力不足、子ども子育てについて議論された定例会でした。本号では県央地域や当初予算の主な取組みのほか、ポイントとなる事業を紹介し、常任委員会や予算委員会で質疑した内容等を取り上げます

## トンネルや道路が明るく安全に！



### ● 県有施設の照明のLED化

R6年度トンネル照明灯5,500灯中約900灯、道路照明灯約2万灯中約1,000灯をLED化予定。全体の5割がLED化の見込みで2027年までに全てLED化する見込み。

オレンジ → 白 (ナトリウム) (LED)

### けいすけが建設・企業常任委員会で質疑！

【厚木市・愛川町・清川村の実施箇所】  
トンネル照明灯…愛川町の半原隧道や愛川トンネル、清川村の春の木丸トンネル  
道路照明灯…厚木市の国道129号、愛川町の県道63号相模原大磯、清川村県道64号伊勢原津久井

## いつ起きるかわからない災害に備えて 緊急輸送道路の斜面对策

### ● 道路の防災対策の充実・強化

能登半島地震で大きな課題となった緊急輸送道路上で対策が必要な斜面は283カ所。R5年度末で187ヶ所が対策完了予定で進捗率は約7割。

### けいすけが建設・企業常任委員会で質疑！

R6年度は国道412号の愛川町田代地内で道路斜面の崩落を防ぐ工事を予定。

## 愛川ふれあいの村 改修工事を開始

### ● 愛川ふれあいの村体育館整備工事

災害時の安全性を確保するため、体育館改修及び耐震補強工事を行う 2億300万円

### けいすけがPick Up!

避難所指定が外れ、再指定を求める声が寄せられています。R5年度から耐震補強工事のための設計が開始され、R6年度からいよいよ工事が始まります



県央地域の令和6年の取組みをピックアップ

## 厚木王子高校 商業教育棟6月完成予定

DXハイスクールに必要な機器や設備が入ります

## マイクロモビリティ 宮ヶ瀬湖で実証実験



※マイクロモビリティ…Eバイクや電動キックボード

### けいすけが予算委員会で質疑

宮ヶ瀬湖周辺地域では3拠点の周遊が課題。将来はAIオンデマンドバスなど多様な交通手段と組み合わせることが考えられ、実証実験にしっかり取り組むよう求めました

## 愛川太陽光発電所 R15でFIT期間終了



※FIT制度…再エネ電気を一定期間固定価格で買い取ることを国が大手電力会社に義務付けた制度

2011年黒岩県政スタート時に再エネ推進の象徴として整備されました。地元からも使いやすい場にしてほしいとの声をいただいています

### けいすけが建設・企業常任委員会で質疑

年間約8千万円の収入がFIT終了後は1/4の2千万円程に。蓄電など県営電気の価値を高める取組みを求めています

令和6年10月から

## 水道料金引き上げへ

県営水道の一部改正条例が可決されました。物価高騰等に配慮し段階的な引き上げとなっています

モデルケース (口径)	現行料金 【標準使用水量】	R6.10~ 平均 16% (現行比)	R7.10~ 平均 19% (現行比)	R8.10~ 平均 22% (現行比)
単身 A(20mm) 	781円 【月4㎡】	932円 (+151円) (19.33%)	956円 (+175円) (22.40%)	979円 (+198円) (25.35%)
3人(20mm) 	2,509円 【月20㎡】	2,993円 (+484円) (19.29%)	3,070円 (+561円) (22.36%)	3,147円 (+638円) (25.43%)

# 令和6年度当初予算 9の重点事業

## 1 子ども・子育てへの支援 1,806億9,596万円


- new!** 妊娠・出産支援の強化 3億6,263万円
  - ・市町村と連携した不妊治療費(先進医療分)の助成支援
  - ・プレコンセプションケア(※)の推進※男女が妊娠出産を含む将来のライフプランを考え日々の生活や健康に向き合うこと
- 一部new!** 小児・ひとり親家庭等への医療費助成 93億6,068万円
  - ・助成を実施する市町村に対して補助※政令市・中核市への補助格差を解消(15.6億円)
- 一部new!** 私立高等学校等生徒学費補助の拡充 43億9,425万円
  - ・多子世帯への支援を拡充(年収上限)約800万円→約910万円未満世帯の授業料無償化(年齢要件)15~23歳→23歳未満の子ども3人

**一部new!** **子どもの意見反映**  
予算額：2,554万円

けいすけが Pick Up!

県の施策に広く子どもの意見を反映するため多様な子どもたちの声を聴く機会を創り、子ども目線の事業提案を実施していきます

子どもの「したい」を応援します!



## 2 教育の質の確保と学びの充実 366億5,493万円

部活の地域移行を進めるために市町村の部活動指導員を大幅拡充。教員不足や働き方改革にも繋がります。



### 予算委員会で質疑「部活動の地域移行」

費用負担の面は地域移行の大きな課題。民間で自立して地域クラブが運営できるよう県は協賛金や指導者派遣など企業との連携に繋がる取組みを行うことを求めました

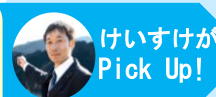
R6年度部活動指導員：13市町村127名(厚木市7名、愛川町6名)

### 教員不足やきめ細やかな学びをしっかりとサポート

本県では教員採用試験の志願者が減少。直近3年間で教員不足や未配置問題も確認されています。様々な方法を駆使して応募者と教員の安定確保に努めるよう求めました

**【教員の働き方改革の推進 45億2,395万円】**

- ・業務アシスタントを2名配置《154人増》
- ・教頭マネジメント支援員《小中学校20人》
- ・小学校高学年教科担任制の推進《42人増》
- ・5年生で35人以下学級を実施《96人増》 など



今後の利用検討をR3年第3回定例会代表質問等で提案

GIGAスクール構想における学習環境の整備

### **new!** 市町村立小・中学校 1人1台端末等の更新

予算額：7億8,721万円

GIGAスクール構想の費用は全国で約1兆5,000億円。効果検証を含む総括をしながらか推進するよう求めました

## 3 未病改善及び医療介護の推進 1,512億2,018万円

- new!** 認知症未病改善に向けた取組 5,212万円
  - ・認知症未病改善研究センター(仮称)の設置及び認知症疾患医療センターの増設・認知症に対する理解促進
- new!** 救急医療相談(#7119) 3億1,175万円
  - ・24時間365日の電話相談の全県展開 ☞令和6年度中に開設予定 ☞キャラバンによるPR等

**一部new!** **こころの健康相談体制の拡充**  
予算額：3億2,030万円

けいすけが Pick Up!

電話相談の回線拡充及び新たに緊急性の高い相談を受ける専用回線の設置を行うほかSNSによる相談の時間延長や広告の拡大を実施

令和4年第2回定例会の代表質問にて子どもたちの心のケアについて取り上げました。子どもも大人も心の健康は本当に大切です



**new!** **介護人材確保支援事業費補助**  
予算額：333万円

けいすけが Pick Up!

有料介護サービス事業所「かながわ認証」の認証を受けた事業所が中心となり介護施設等が共同実施する介護人材確保の取組への補助

神奈川県は2025年度までに約1万6,000人の介護人材が不足する見通し。令和4年第3回定例会で対策を求めていました



## 4 行ってみたい神奈川の魅力づくり 14億3,542万円

- かながわDMO(※)の体制強化 1億1,886万円 ※DMO…観光地域づくり法人
  - ・観光データ基盤の整備(DMOへのデータ提供) ☞消費動向やSNSの口コミ等のデータを収集・分析
  - ・DMOとの連携・役割分担(県の業務見直し) ☞DMOにインバウンド向け一元的対応窓口の設置
  - スポーツを通じた地域の盛り上げや障がい者スポーツの推進 7,350万円
  - ・スポーツツーリズムの推進
  - ・東京2025デフリンピックの機運醸成等
- 「行ってみたい神奈川の魅力づくり」の事業から予算委員会で取り上げた質疑について次ページで紹介します!



## 予算委員会で質疑「自然を活かした観光振興」

県央やまなみ地域では自然と都心との近さを活かした観光施策が不可欠。地元で意見をいただいた林道や湖面利用の在り方について、新たにはじめるSNSや口コミなどの観光データ分析等と組み合わせながら取組むよう県に求め、知事からも前向きな答弁がありました

### 観光客受入環境整備 予算額：3,022万円

民間事業者が行う多言語表記やDX整備等に対して補助(補助率：1/2 上限額：100万円)

R5年度は申請数81件中アドベンチャーツーリズム(AT)事業は3件。他の都道府県でも取組みが始まっており、地元の観光協会や旅行会社、団体等にATの考えを伝え、地域が地域の資源に気付く、地域のコンテンツを磨き上げるきっかけとなるよう県の支援を求めました

### かながわのガイドを育成 予算額：472万円

外国人観光客の誘致を促進し、自然・歴史・食・文化等の観光コンテンツに高い専門性を有するガイドを育成し、「かながわ認定観光案内人」として育成する

かながわ認定  
観光案内人の  
HPはこちら



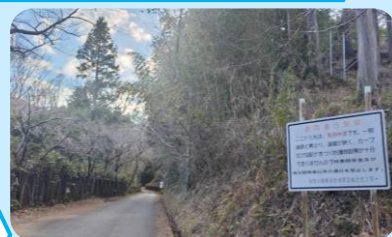
R4年度は26名を認定、R8年度まで毎年20名程度の認定を予定。現在はガイド人材がいない地域もあり、地域の偏在性があるとその地域の魅力を引き出す商品がないということにもなるため、必ず地域にガイド人材がいるような取組になるよう求めました。予算額は少ないが大きな効果が期待され、県のアピールや観光資源の磨き上げに繋がるため発信も含めて取組みを求めました

### スポーツツーリズムの推進 予算額：2,041万円

スポーツを通じた地域活性化に向けてサイクルツーリズムに加え、新たにアウトドアスポーツやアーバンスポーツのツーリズムを推進するため、体験ツアーや動画等の作成によるPRを行う



愛媛県での視察



厚木市の林道

サイクルツーリズムでは視察した愛媛県を参考に隣県との連携を求めました。また、地元で地域振興のために林道を活用したいと要望をいただいております。県営林道や森林空間の活用事例が全国的に広まっていることも踏まえ検討を求めました



### 宮ヶ瀬湖の湖面利用を考える 予算額：1,499万円

宮ヶ瀬湖での釣りの実現可否を判断するため周辺地域の活性化策も含めた調査を実施する

湖面利用エリアを広げてほしいと声をいただいております。調査では既存の湖面利用区域等の調整も検討することが示され、釣り以外のスポーツなどの検討も求めました

## 5 県内経済・産業の活性化 195億3,228万円 (5年度12月補正予算を含む)

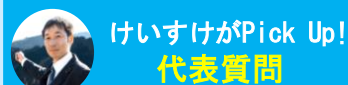
ロボットの社会実装の加速化 14億5,464万円

- ・ドローン開発、介護ロボットの実用化や導入支援、ロボット交流拠点の設置

企業誘致などによる産業集積 29億1,542万円

- ・現行のセレクト神奈川NEXTを拡充延長(債務負担行為設定額(R6~25度)206億円)

中小企業の設備導入やデジタル化への支援  
公募を開始しています  
ご確認ください!



けいすけがPick Up!  
代表質問

県内企業の意識調査(帝国データバンク横浜支店)によると**人手不足の解消**が原材料不足や価格高騰対策をおさえ**必要な施策のトップ**に!

### 人手不足業種の支援 予算額：4,210万円

セミナー実施。相互理解が進んだ上で面接会開催

### 専門人材の確保 予算額：1億6,620万円

リスキリングにより中小企業従業員の人材育成を推進

令和4年第2回定例会で  
女性デジタル人材の育成や  
リスキリングの支援について  
求めています



## 6 脱炭素社会の実現への取組 153億9,990万円

R5年12月「神奈川県地球温暖化対策計画改定案」で示された2030年度に向けた中期目標  
《県内の温室効果ガス排出量》**△50%削減**(2013年度比)

《太陽光発電の導入量》2021年度実績 102.7万KW → **2030年度目標 200万KW以上**

高い目標が掲げられ脱炭素化に繋がる予算が**大幅増** (R5 85億→R6 153億)



中小企業の脱炭素化の取組への支援等 17億3,058万円

- ・CO<sub>2</sub>排出量管理システム導入に対する支援、再エネ設備導入に対する補助

県庁の率先実行 104億8,991万円

- ・道路照明等を2027年度までに原則LED化、県有施設の太陽光発電等の導入

けいすけのAction!

海での藻場再生(ブルーカーボン)

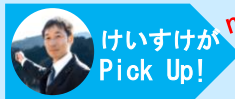
山でのエリートツリーの開発

(グリーンカーボン)など県土の

あらゆる場で脱炭素化を進めます

磯焼け対策の  
ウニ採りに参加

# 7 共生社会実現・生活困窮者への支援 914億2,775万円



## new! 相談支援体制の充実 予算額：5,731万円

障がい者の支援に自ら携わるピアサポーターの要請を行う研修を実施する。  
また、聴覚障がい児が早期から必要な支援を受けられるよう相談体制を強化する

## new! 県立障害者支援施設の方向性ビジョンに沿った取組 予算額：1億2,292万円

愛名やまゆり園再整備 敷地の一部が土砂災害特別警戒区域であること、また埋蔵文化財埋蔵地であること等からこれらの課題を解決した後、進める方向でスケジュールが見直されます



# 8 安全・安心な神奈川の実現 1,516億9,269万円



## 新たな地震防災戦略の策定 予算額：1億1,282万円

## new! 能登半島地震を踏まえた緊急災害対策の実施 予算額：1億3,593万円

地震被害想定調査2年目にあたり結果を取りまとめ新たな地震防災戦略を策定。  
能登半島地震で孤立地域の発生やライフラインの断絶等が課題となったことを踏まえ、  
県の備蓄強化や市町村への財政支援を実施します



# 9 県民目線のデジタル行政の推進 234億9,271万円

## くらしのデジタル化 119億2,123万円

- ・ かながわ子育てパーソナルサポートの機能強化、
- ・ 医療DXの推進 横須賀・三浦地域等で患者情報共有化を支援



LINE公式アカウント  
「かながわ子育てパーソナルサポート」はこちら →



## 建設・企業常任委員会

### new! 一部 道路・河川台帳等のデジタル化

予算額：11億5,526万円

道路台帳：台帳のデジタル化はまだ十分に進んでおらず現状は県管理道路の約4割。令和8年度までに電子化完了を目指す

河川台帳：台帳の3D化は、山体崩壊で土砂が河道を閉塞した現場等で土砂量を確認でき、災害対応の迅速化が図られます

オープンデータ化を進め、今後は事業者・県民の方もネットなどから見れるように進めています

## 戦略的な管路整備 予算額：213億1,482万円

能登半島地震では長期的な断水が課題となり、料金改定が行われる本県でも水道の地震対策が最重要課題です。佐藤は県営水道の戦略的な更新について確認。狭隘道路や線路下など工事がしにくい地域を優先して耐震化し、30年後までに断水戸数や復旧日数を大幅に減らします



30年後被災時の試算	発災直後断水戸数	延べ断水戸数	復旧日数
2020年度ペースの耐震化	64万戸	1,103万戸	30日
戦略的な管路更新の耐震化	<b>11万戸</b>	<b>112万戸</b>	<b>18日</b>

## 県営水道と隣接市町との災害に備えた連携

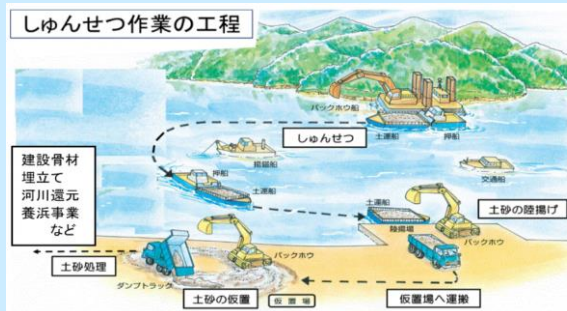
県営水道は8市町との間で14ヵ所の緊急連絡管が接続しています。今後は通水作業も合わせた合同訓練の実施に向け、各市町と具体的な調整を進めていきます

中井町の町営水道と県水をつなぐ緊急連絡管



## new! 城山貯水池の堆砂対策 予算額：1億5,488万円

城山貯水池ではR元年東日本台風の襲来時に例年の約35倍の約11万m<sup>3</sup>の土砂が堆積し、最大で3m程度川底が上昇しました。今回初めて堆砂計画が策定され、浚渫土砂の有効活用と上流域の治水対策が図られます



本紙を通して県政の一端を少しでも身近に感じていただけたら幸いです。ご意見があればお寄せください。

佐藤けいすけ事務所

ホームページをリニューアルしました!

〒243-0014 厚木市旭町1-21-12三紫ビル2B keisuke.sato.office@gmail.com



スポーツツーリズムを体感! 厚木市のトレラン大会を完走!

